

(別紙1)応募様式

No. _____

教育改善提案書

所属学科名 (または所属課又は団体名) 放射線技術科学科

応募者氏名(代表者氏名) 武藤 裕衣

応募者(代表者)連絡先 (e-mail アドレス) mutohiro@suzuka-u.ac.jp

| | |
|---------------------|--|
| 1. 提案名 | 新 SUMS-PO 課題提出を使って学生の「継続的な学習力」を育てる取り組み |
| 2. 趣旨・理由を含めた提案内容の概要 | <p>学生アンケートや日頃指導している学科学生との面談から、「授業に興味はそれなりにあるのだが、定期試験前に集中して学習しており、普段の授業での予習や復習の習慣が身につけていない」学生が少なくないことが推察されました。</p> <p>一方、過去に、予習・復習を促す上で「授業ノートの作成と提出」を指導することで教育効果が期待できるため実践しました。しかし、履修者 100 名超の学生に対する指導においては、定期試験後に一括ノート提出を指導していたため、とくに成績不良者との面談では「つい、テスト前にまとめてノートを作っていた」「ノートの書きかたが良くわからなかった」「途中で授業についていけなくなり、勉強のやる気がなくなった」ことが判明し、その他の学生からは「早くノートを返却して欲しい」「(復習や予習をしていない人のために)授業中に先生が何度も説明するのはくどくなるのでやめて欲しい。」などの意見がだされていました。</p> <p>本提案の内容は、「学生に対し、毎回の”復習ノート”を 2 ページ以内程度で作成させ、新 SUMS-PO の海内提出から毎週提出させる。もしも学生がノートや課題を提出し損ねた場合、新 SUMS-PO QandAから”なぜなぜ分析”を作成し”ノートや課題”と併せて提出させる」というものです。</p> <p>これにより上述の課題を克服し、本学学生の皆さんの日々の予習復習を習慣づけるほか、学生がノート提出をし損ねたミスの機会を教育指導の機会に活かし、同じミスをしないうための学習・生活習慣を学生自ら考えていただき、日々の学習習慣を身に着けることを目指しています。また教員の立場からは、ノート返却遅れや返却時のノート紛失のリスクを防止するほか、学生の理解度を把握することにつながると考えます。</p> |